



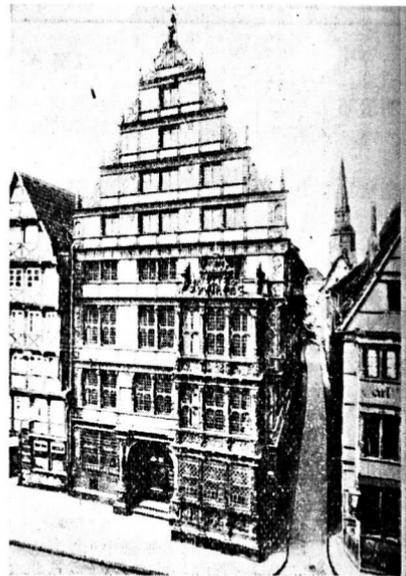
歐米再遊日誌 (3)

理學博士 山本一清

7月24日 (日曜日) 晴れ。

今日から一週間、中央ドイツ周遊の計畫により、朝7時56分ハンブルグ驛發、9時半ブレメン着。此所は曾遊の地で、地理は心得てゐる。11時ドム廣場まで来て、丁度、堂内の禮拜式に出席した。それから百年前のアマチュア天文家オルバースの記念碑を見、13時から美術館に入り、名畫を多く參觀した。

15時24分ブレメン發、18時23分ハノバ1着。驛前のライニシヤ・ホフに宿を定め、後、散歩して、ゴセリ1デ廣場に近いプラネトリウムを訪れたが、此所は毎水曜16時に公開することになつてゐるので、門前から引き返し、C. V. J. M. ホスピツ、ライブニツ館、舊ライトハウス、マルクト・キルへ等の外観を見た。



ハノバ1のライブニツの舊家

7月25日 (月曜日) 晴れ。

朝7時5分ハノバ1驛發。同55分ゲチンゲン驛に下車。バトンホフ街からゾ1ンダ街に出で、アウヂトリウム、ライトハウス、大學天文臺、ガウスとエ1ベルの記念像、エ1ラ1像、ピスマルク小屋、ヒンデンブルグ城壁等を見た。夏休中なので、大學生たちは居ず、市街は淋しい。

12時25分ゲチンゲン發、ペブラで乗り換へ、14時半にアイゼナハ着。クロンプリンツ・ホテルに入り、間もなく、バスで郊外のワルトブルグ城に登る。四百年前ル1テルが幽閉されて、聖書を翻譯した所、其の他にも傳説は多く、チウ

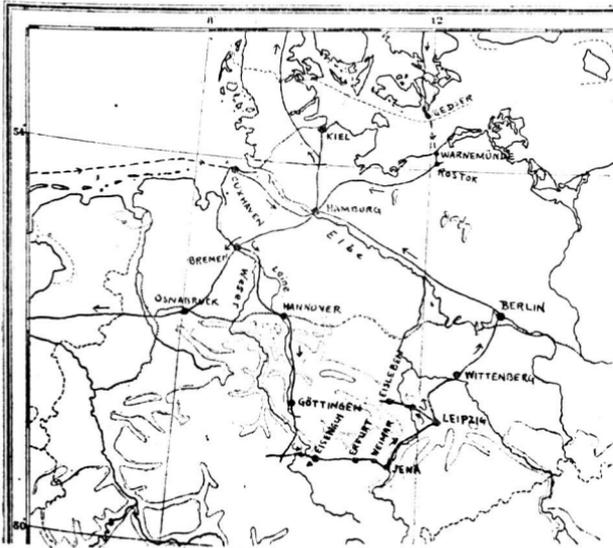
リンゲン侯の古城として實に豫想以上の立派なものであつた。

18時下山し、市街を散歩した。

7月26日(火曜日) 晴れ。

朝7時アイゼナハ發、同46分エルフルト驛に下車。パインホフ街から、アン

ガ1街、ルーテル像、ヨハネ街、マルテン院(ルーテルの居た僧院)を經、魚市場では市廳と其の内部の有名な壁畫を見、フリドリヒ廣場から、ドーム及びセペリ教會を見、ブレダガ教會、政廳(ナポレオンの宿つた所)を經て、停車場に歸り、11



ドイツ國內の旅行經路

時40分發、12時にはワイマ1着、ホ1ヘンツオラ1ン・ホテルに入る。

此所は昔しからザクセン侯の住都であり、又アウグスト侯以來は有名な藝術の都であるが、大戰後は新ドイツの共和議會を開いた所で、現在、ヒトラ1廣場を始め市内は所々に改良の大工事中である。自分はソフエン街、ビュルガ1街等を経て、中央劇場の側からシラ1街をぬ



ゲチンゲンの市廳と廣場

けて、ゲ1テ館に至り、3時間を費して詩人ゲ1テの記念博物館を見た。

7月27日(水曜日) 晴れ。

朝8時17分、ワイマ1驛發、同48分にイエナ市の「西停車場」着。直ちにツア



イエナ市のツアアイス工場

イス會社を訪ね、レオナルド、エルネル、キンデイシ等の諸氏に會ひ、11時から會社のプラネタリウムを見た。新しい太陽系軌道の映寫装置は大變に良かった。ルーテルが宿つたといふシヅルツア・ペーレン・ホテルで午餐を饗せられ、其の後、ルーテ

ル室、アベ像、大學、シラ1館を案内され、大學天文臺ではジ1デント教授に會ひ、天空光度計を見せられた。

18時33分、見送られて、ザ1ル停車場より出發、ナウムブルグで乗りかへ、20時46分ライブチヒ着。コンチネンタル・ホテルに入る。

7月28日(木曜日) 晴れ。

朝の間、暫く市街を散歩し、10時25分發の列車に乗り、ハレで乗りかへ、11時50分アイスレーベン着。此所はルーテル(*1483, +1546)の生れた町で、ルーテルに因むものが多い。停車場から“ヒトラ1街道”を経て、市街の中央部

に入り、ルーテルの生れた家、受洗したペータ・パウル教會、マルクト廣場の肖像、ルーテルの死去した家、説教したアンドレヤス教會等々。一巡して、15時



ライブチヒの停車場前の廣場

55分元の停車場から、又、ハレ經由、18時ライブチビに歸つた。

7月29日(金曜日) 曇。

朝8時21分ライブチビ發、9時10分キテンベルグ着。此所も“ル1テルの町”である。先づ、停車場通りの櫛の大樹は、ル1テルが法王から來た破門狀を焼いた所であり、コレゲ通りのル1テル館は夥しい記念物を集めてゐるので、之れを見るのに3時間を費した。(此の時間、外は雨であつた。)それから、メランヒトン館の前を過ぎ、マルクト廣場、市教會を見、次で、市の西端にある城内教會の内外を見た。此の教會の扉にはル1テルが發表した95ヶ條の文が鐵板に刻りつけてある。又、中にはル1テルとメランヒトンとが葬つてある。



アイスレーベンの
ル1テル誕生の家

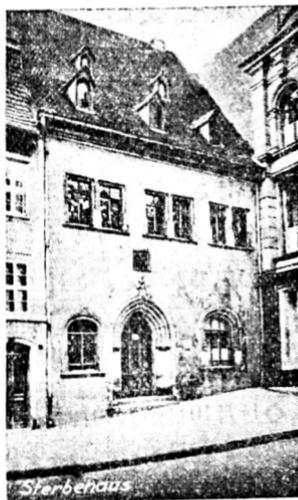
7月30日(土曜日) 晴。

朝9時、トマス・クク旅行會社でスエーデン行の切符を買ひ、いろいろの準備をした。午後はフリーデナウのアスカニヤ會社へ行つたが、時刻が遅かつたので、主任のローゼンハーゲン博士にはストックホルムで會ふこととし、辭去。

7月31日(日曜日)

朝7時56分ベルリン(レイアタ停車場)發、急行で、11時25分ハンブルグ着、元のライクスホテル・ホテルに入つた。

15時、電車でハーゲンベクの大動物園を見に行つた。なるほど大規模のものではあるが、動物の取り扱い方などは、豫想してゐたほどのものでは無かつた。(つゞく)



ル1テルの死んだ家